

【教育目標】 心豊かでたくましく、

夢に向かって挑戦する北谷地っ子



～ 笑顔 満開 北谷地小 ～

校長 安孫子 孝司

令和7年度、そして133年目の北谷地小学校が始まりました。私は、学校のパワーフレーズになっている「笑顔 満開 北谷地小」という言葉が大好きです。みんなが笑顔になれるよう頑張っていきたいと、この言葉によって励されます。

みんなが笑顔になるよう「思いやりの言葉を届ける」ことや「鍛え合う、響き合う、学び合う」ことに力を入れていきたいと考えます。

元気が出る言葉に「いいね」「がんばっているね」「ありがとう」「ごめんね」「大丈夫だよ」などがあります。励まされると勇気が出ます。また、言葉を大事にすることは、人間としての思いやりの深さにつながるものです。

それから、くじけない強さを身に付け、なりたい自分に近づくことです。友達と新しいことを創ったり分かたりすることです。たくさんの体験・経験や考えたこと、分かったことが未来の自分を創ります。小さなことでもやりたいことを見つけたら目標をもって頑張っていけるよう学校・家庭・地域が語り合いながら、子どもを育てる「和」を強く大きなものにして教育活動を進めていきます。

【目指す子ども】

- (1) やさしく思いやりがあり、夢に向かって挑戦する子 《尊重》
- (2) 自ら学びに向かい、仲間と協働して追究する子 《探究》
- (3) 目標を持ってあきらめず、心身ともに元気な子 《体験》
- (4) ふるさとのよさを感じ、楽しみながら学びや経験を活かす子 《協働》

【経営の重点と方針】「鍛え合う・響き合う・学び合う」

- (1) 自他を尊重し、やさしく思いやる心と行動の育成 【豊かな人間性】
- (2) 児童が主体的に課題を発見し、多様な人と協働しながら課題を解決する学びの実現 【探究的な学習の創造】
- (3) 自然や地域の文化などに触れる体験学習の充実を図り、ふるさとのよさを感じる教育活動の推進 【生活科、総合的な学習、特活の研鑽】
- (4) 複式学級の教育実践と教育課程などの学校体制の構築 【自己教育力の育成】
- (5) 健康や食に関する実践的な指導の推進と生活習慣の確立 【健康生活】
- (6) 安心を生む安全管理・指導の徹底と先を見通した危機管理の実施 【危機管理】
- (7) 家庭や地域の願いや思いを受け止め、さらなる連携と信頼関係を強化し、ともに歩む学校づくりの推進 【地域連携】
- (8) 学校経営に積極的・協働的に参画連携するとともに、互いのよさを尊重し合える温かい職員集団の形成 【チーム学校】